

ボジターネ

改題 高齢協「会報」

発行

〒950-0965

連合新潟高齢者協議会

新潟市中央区新光町6-2

TEL 025-281-5454

FAX 025-281-5456

高齢協から「退職者連合」へ

第24回定期総会より名称を「新潟県退職者連合」に

県高齢協は、5月18日、第4回幹事会を開催し、第24回定期総会に審議する議案等をまとめました。議案は、▼今後の高齢者協議会の組織・運営方法等について、▼名称変更に伴う規約改正につて、▼運動方針について、▼予算について、の4本とすることとしました。

これまで高齢協へ財政的支援をしてきた団体からの交付金が減額されることとなったことから、今後の組織や運営を見直すこととあわせ、名称も中央及び全国の退職者組織と合わせていくため変更することとしました。

特に、「組織・体制・運動等」については、▼高齢者協議会の活動目的とセンターの役割・機能、▼大会の開催と運営、▼地域協議会、を中心に検討していくこととしています。これら見直しは、2017年に開催される第25回定期総会で最終確認し、決定する

こととして
います。

また、第4回幹事会では、7月に行われる参議院選挙について、新潟選挙区では、「森ゆうこ」



森 ゆうこ

元文部科学副大臣

高齢協は、第四回幹事会で参議院新潟選挙区で、野党統一候補の「森ゆうこ」さんを推薦しました。

さんを推薦し取り組むこととしました。当面、各職域及び地域で推薦決定を行い、機関会議やイベントがあれば候補者を招聘し挨拶をもらうこととし、具体的活動については現役組合や連合新潟と連携を密にし取り組んでいくこととしました。

魚沼地域高齢協 総会

環境・医療福祉の研修を！

魚沼地域高齢協は、5月26日、第17回定期総会を開催しました。

向こう一年間の活動方針では、環境、医療、福祉等のかかわる施設、機関を訪れる企画をするほか、県高齢協の方針に沿って政治活動を展開することとしました。

懇親会では、参議院選挙の立候補者の「森ゆうこ」さんが駆けつけ、あいさつで野党統一候補となった経緯や暴走する安倍政権にストップをかけるべく活動を展開するとの決意をのべ退職者の全面的な協力をおねがいしました。

高齢者の目線で活動

中越地域高齢協 総会

5月26日、中越地域高齢協は、第17回定期総会を開催し、年金、医療、介護の課題について方針を確認しました。

具体的な運動の進め方では、組織運営について役員が事業を分担し計画実行していくこと、担当幹事と三役による合同の会議の開催しセミナーや研修、行政要望、連合中越地協との提携などを進めていくこととしました。

また、結成以来大切にしてきた「高齢者の目線で焦らずにできることから」モットーを今後とも守りながらすすめていくこととしました。

組織委員会が第一次提言

新退教 総会

新退協は、5月27日、第44回定期総会を開催しました。

総会では、今年度立ち上げた組織対策委員会が、新退教が抱える諸課題の解決に向け本格的に取り組む体制を整えた、と報告されました。

同委員会は、現状に合った規約のへの見直し、再任用時代に伴う入会の案内の工夫、魅力ある新退教の再構築、経費の節約や見直しなどを図るとしています。第一次提言では女性の副会長の追加などが示され、今後も2～3年かけて諸課題の解決の提言をまとめることが報告されました。

十日町地域高齢協 総会

みんなと共に生きがい

十日町地域高齢協は、第17回定期総会を5月28日に開催しました。

活動方針では、親睦交流、自治体要求、研修会、組織拡大、労金・生協・地区労福協の発展を柱として取り組むこととしました。また、また参議院選挙での「森ゆうこ」の必勝も明文化されました。

質疑では、県高齢協が組織の見直しで「支部」「サテライト化」など示したについて、支部の名称では行政対応などを考えると「支部」ではなく「地区協議会」などの名称にしてほしいどの意見が出されました。

新高退 総会

学習・親睦・交流の推進

新高退は、6月22日、第35回総会を開催し、要求の実現・課題解決の取り組み等について確認しました。基本方針では、日退教や県高齢協との連携、民主諸団体の連携による大衆運動の推進、会員の連帯と親睦が示されました。

要求では、年金医療制度の福祉政策、脱原発クリーンエネ社会の実現、平和、組織拡大に向けそれぞれ具体的テーマが示されました。また、「地域探訪」「研修旅行」「囲碁大会」などの学習・親睦・交流の企画も確認されました。

高齢協第24回定期総会

期日 7月22日(金)午後1時

会場 ガレソンホール

県央地域高齢協 総会

広報等3委員会の活性化

5月30日、県央地域高齢協は第17回定期総会を開催しました。

県央の伝統ともいふべき広報・厚生・組織の3委員会による活動の企画運営は健在で、本年も会報の発行や会員相互の親睦と交流、組織の強化アック台を図っていくこととしました。

特に、地区労福協への加入したことで、年金の労金への口座指定、総合生協の利用促進、ライフサポート事業などの活動に参画し、あわせて広報を通じて広く啓発していくこととしました。

JR東労組OB会 総会

広報・厚生・組織委員会で

JR東労組OB会は、6月19日、第20回定期総会を開催し、組織・政治・交流連帯・情宣等の活動方針を確認しました。

組織関係の方針では、OB会未結成支部の再建、エルダー組合員の労働条件・職場環境改善を現役世代と共に取り組んでいくこととしました。

政治関係では、参議院選挙の選挙組織内候補の当選に向けた取り組みを進めることとし、新潟選挙区では現役組合や県高齢協の指導の下、取り組んでいくこととしました。

ホームページの活用について(お願い)

高齢協では、ホームページの充実に努めています。社会保障関連制度や特殊詐欺防止、中央退職者連合から示された各種資料、高齢協役員のコラム(随想)など掲載しています。パソコンは、どうも、という方もあるかと思いますが、高齢協の「ホームページ」にアクセスしてみてください。

「新潟高齢協」と検索してください。もしくは連合新潟のホームページのバナーから入って下さい。

新潟高齢協

検索

高齢協の今後の組織・運営にかかわる見直しでもあるように、正式要請文書、各種報告文書等とは別ですが、可能な限り紙ベースでの情報提供を控えていきたいと考えています。

